



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	札幌圏内自治体のまちづくり：21世紀へのビジョン（石狩町・江別市・広島町・恵庭市・千歳市の住民アンケート調査を中心に）
Author(s)	熊谷, 和夫; Kazuo KUMAGAI
Citation	社会教育研究, 16, 107-124
Issue Date	1997-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/28516
Type	departmental bulletin paper
File Information	16_P107-124.pdf



札幌圏内自治体のまちづくり——21世紀へのビジョン—— (石狩町・江別市・広島町・恵庭市・千歳市の住民アンケート調査を中心に)

熊谷和夫

1. はじめに

北海学園大学開発研究所は、3カ年計画で「札幌市周辺自治体のまちづくり——21世紀へのビジョン」のテーマのもとで、札幌圏内の自治体の中から石狩町、江別市、広島町、恵庭市、千歳市の5自治体を対象に、札幌市の急激な都市化と、その影響での人口の急速な増加を遂げた住民にたいしてアンケート調査を実施した。

これらの自治体は、21世紀に向けて産業構造の転換を迫られているが、いずれも「先端技術開発」、
「企業誘致」、「リゾート開発」などの諸課題を抱えて、地域開発プロジェクトを展開している。石狩町の「石狩湾新港工業団地」「既存商店街と商店街の再編成」、江別市の「多核型連携軸複合都市」
「RTN（リサーチ・トライアングル・ノース）学術研究開発型団地構想」、広島町の行政・産業・文化の「複合機能都市構想」、恵庭市の「工業用地とハイコンプレックス構想の恵み野新興団地」、千歳市の「先端産業の臨空工業用地とエアカーゴ（航空貨物）基地構想」「コンベンション都市」などである。

複合的現象としての都市構造の背景には、農村的な現状にある地域性、農村の都市化という性格がつかまとう。札幌市の通勤圏にある旧住民層と新住民層との意識のズレや、リゾート開発に見られる自治体の影響、産業廃棄物による環境汚染など「まちづくり」はいかに可能か、予想される問題点が挙げられる。

この住民アンケート調査は、2年間にわたって実施されたが、初年度は石狩町と広島町について1992年の12月に、次年度は江別市・恵庭市・千歳市について、1994年の1月に、質問内容も初年度は社会・文化を中心に、次年度は産業・経済に視点を移動してみた。

1993年の各自治体の人口数

石狩町	広島町	江別市	恵庭市	千歳市
47,339	48,990	103,718	59,748	81,632

抽出サンプル数、回収サンプル数、回収率と男女比（いずれも選挙人名簿から無作為抽出）

石狩町	広島町	江別市	恵庭市	千歳市
1,996	2,002	2,013	2,068	2,040
668	879	753	629	629

	33.5%	41.4%	37.4%	30.8%	30.4%
男	44.5	44.5	45.7	49.1	48.6
女	55.1	54.8	54.2	50.6	51.4

アンケートの設問は、石狩町・広島町では32問、江別市・恵庭市・千歳市でも32問用意されたが、その中からいくつかの設問を選択して紹介してみたい。

2. 札幌圏の人口移動マップ

1. 通勤地・通学地

石狩町	札幌市 60.3	石狩町内 31.3	その他 7.3
江別市	札幌市 49.9	江別市内 39.9	その他 8.8
広島町	札幌市 46.4	広島町内 35.5	その他 10.9
恵庭市	恵庭市内 55.8	札幌市 19.0	広島町 6.0 その他 6.6
千歳市	千歳市内 83.2	札幌市 7.0	恵庭市 3.7 苫小牧市 3.5 その他 2.7

2. 以前の居住地

石狩町	札幌市 63.5	道内 24.9	石狩町内 6.7	道外 4.3
江別市	道内 40.6	札幌市 36.9	江別市内 14.7	道外 5.4
広島町	札幌市 49.2	道内 34.1	広島町内 8.4	道外 5.2
恵庭市	道内 49.8	札幌市 17.6	恵庭市内 15.3	道外 14.6
千歳市	道内 44.2	道外 24.8	千歳市内 16.2	札幌市内 12.1

札幌への通勤・通学は、石狩町 60.3、江別市 49.9、広島町 46.4 の順で約半数になる。恵庭市は地元を中心に札幌、広島、千歳に分散するが、千歳は 83.2 と地元への定着度が高い。

札幌からの移動は石狩 63.5、広島 49.2、江別 36.9 で、恵庭は道内移動が 49.8 で最も高く、千歳は道内、道外、市内の順に分散して、住民の主体が新興団地を形成しているといえる。

3. 札幌市との住みやすさ比較（主なもの）

問 札幌市と比べ、どのようなよい点があると思いますか。5つ選んでください。

1. 自然環境に恵まれている

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
66.2	63.9	82.1	64.5	70.9

2. 公害が少ない

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
52.8	29.7	40.4	41.8	33.3

3. 通勤、通学の便がよい

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
9.6	31.1	20.6	23.1	21.0

4. 物価が安い

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
3.0	4.3	3.8	5.8	4.2

5. 病院などの医療設備にめぐまれている

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
7.9	8.8	8.7	14.7	3.7

6. 上下水道、ごみ、屎尿処理施設が整っている

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
14.7	20.8	19.3	18.7	34.4

7. こどものための教育環境が良い

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
12.7	9.7	18.1	9.4	4.5

8. 札幌市に隣接しているのので、なにかと便利である

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
64.9	73.9	64.7	62.4	56.7

9. よい働き場所がある

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
5.6	1.2	2.2	2.9	5.8

10. スポーツや文化活動が盛んである

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
5.0	8.7	4.5	5.8	6.6

11. 住宅事情がよい

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
29.4	17.2	28.3	22.6	17.8

札幌市との比較では(1)の自然環境の良さが抜群である。特に広島町では8割を超えているが、反面、緑地開発がゴルフ場建設に極端に偏り、(2)の新しい公害問題になっている。

(3)の通勤、通学の便については、JR線沿い、特に江別市に高い評価が出るが、逆にバス路線の石

狩町には、吹雪、交通渋滞などの不満が高い。周辺市町村の不満では、(4)の物価のおおよそ5%以下で際立っているが、大型店が少なく、買物の便の悪さが加わっている。(5)の医療機関についても同様の傾向であるが、専門病院との関係がある。

(7)の教育環境については、(8)の札幌市との関係が色濃く出ている。江別市を中心に石狩、広島、恵庭の順に住民の札幌志向は強くなる。同様に(9)の働き場所について、札幌の優位は明らかで、(10)のスポーツ、文化活動でも、実態とあまり関係なく札幌の優位を認めている。ただ住宅事情では、差別感はそれほど高くはない。

これを前年調査の「よくない点」で石狩、広島を見ると、「各種のサービス施設」石狩 66.2、広島 64.9、「通勤・通学の便」石狩 59.9、「医療施設」石狩 52.4、広島 52.1、「道路・交通」石狩 47.6、「働き場所」広島 43.8、「スポーツ・文化施設」広島 42.0、「水道・ゴミ」石狩 36.9、「道路・交通」広島 36.2、「買い物の便」広島 36.0、「通勤・通学の便」広島 34.4、「スポーツ・文化施設」石狩 33.4、「働き場所」石狩 31.7、「物価」広島 31.3、石狩 30.2の順になる。

4. 将来発展の課題

問 あなたは、将来どのような都市として発展すべきだと思いますか。3つだけ選んで下さい。

1. A = 豊かな自然にはぐくまれた田園都市として発展すべきである

石狩町 33.7 広島町 22.8

B = 酪農を基盤にした農業のまちとして発展すべきである

江別市 3.5

C = 自衛隊の基地のまちとして発展すべきである

恵庭市 10.3 千歳市 13.3

2. 緑や公園が多く整然とした住宅が広がる住宅都市として発展すべきである

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
34.6	41.6	33.7	34.2	24.5

3. 学校教育、社会教育の施設が整備され、生涯教育・生涯学習の活発な教育都市として発展すべきである。

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
25.9	33.6	32.6	24.1	23.4

4. 老人や障害者などが豊かで安心して生活できる福祉都市として発展すべきである

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
44.7	44.3	46.4	46.9	39.8

5. ゴルフ場やレジャー施設の完備した観光・リゾート都市として発展すべきである

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
1.9	2.0	2.2	2.7	4.3

6. 図書館、美術館、劇場などの整備された高度の文化都市として発展すべきである

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
25.5	22.3	35.0	17.5	17.4

7. A=工業を中心として、多くの町民に職場と収入をもたらす豊かで活力のある産業都市として発展すべきである

広島町 11.1

B=石狩湾新港を活用して、……

石狩町 43.2

C=企業誘致によって、……

江別市 16.3 恵庭市 31.2

D=新千歳空港を活用（国際エアカーゴなど）し、……

千歳市 49.8

8. 消費者の多様なニーズを満足させる魅力ある商品が多く、買物を楽しめるような商店街が整備された商業都市として発展すべきである

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
20.2	14.1	24.7	16.1	19.5

9. 医療設備が充実しており、教育やスポーツを通じて心身の健やかな市民の多い健康都市として発展すべきである

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
20.5	38.0	26.9	36.3	38.4

10. 先端技術（ハイテク）の研究開発に取り組む大学や研究所などの研究機関が集中した研究学園都市として発展すべきである

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
2.8	15.1	5.9	12.7	16.0

11. 地域活動が活発で、隣人のことにも心配りのできるゆとりをもち、住み続けたいようなコミュニティ都市として発展すべきである

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
15.7	28.4	18.2	27.0	24.2

(1)の田園都市（石狩町・広島町）の性格は、ややあいまいだが、江別市の酪農の「まち」は、3.5で拒否の姿勢であり、恵庭市・千歳市の基地の「まち」も10.3～13.3で消極的である。(2)の住宅都

市としての発展が安定している。

(3)と(6)の生涯学習都市，文化都市は，具体的理解の上で差があり，福祉都市については，住民の積極的理解が一様に感じられる。しかし，外部からのレジャー施設については，積極的に拒否の構えである。

(7)の広島町の「複合機能都市構想」については，まだ住民によく知られていないようであるが「石狩湾新港」は宣伝が行き届いているので，町民の関心は高い。企業誘致については，江別市民は消極的だが，恵庭市は「道央テクノポリス」の指定を受けたこともあってか関心は高い。千歳市の空港活用についても同様に，「道央テクノポリス」の期待があつてか関心は非常に高い。

(8)の商業都市については，小規模商店の多い現状から離れた期待はないようである。(9)の健康都市については，専門病院の少ない石狩，広島の札幌への依存からか，江別，恵庭，千歳に比較して差は大きい。また，研究学園都市については，具体的理解がないようで，わずかに識者の関心にとどまっている。

コミュニティ都市としての発展も，具体的話題が少ないのか，まだ強い関心にはなっていない。

5. 産業・経済の発展課題

問 産業や経済をより以上に発展させるためには，今後，どのようなことに力を入れることが重要だと考えますか。3つだけ選んでください。

1. 地元の資源を生かした地場産業の振興や地元特産物の開発

江別市	恵庭市	千歳市
41.6	44.4	35.1

2. 大学・研究所など高等教育機関の誘致による頭脳集積地

江別市	恵庭市	千歳市
40.1	35.3	46.3

3. 札幌市との地理的条件を生かした流通の拠点化

江別市	恵庭市	千歳市
37.4	33.2	35.4

4. 生活道路・上下水道・住宅など生活基盤の整備による人口増加

江別市	恵庭市	千歳市
39.2	34.3	28.8

5. 札幌圏への通勤・通学の拠点化

江別市	恵庭市	千歳市
31.0	30.9	14.8

6. 地元中小企業の振興

江別市	恵庭市	千歳市
24.4	22.7	26.8

7. 地元産業への先端技術の導入・育成

江別市	恵庭市	千歳市
25.7	26.5	22.1

8. 道外大手企業の誘致

江別市	恵庭市	千歳市
17.4	25.2	33.1

9. 観光やレクリエーション産業の振興

江別市	恵庭市	千歳市
11.8	12.1	20.8

10. 工業団地の拡充・整備

江別市	恵庭市	千歳市
10.6	12.6	19.3

11. 札幌圏内企業の誘致

江別市	恵庭市	千歳市
11.2	10.3	7.2

12. 自衛隊基地のより以上の拡充による人口増加

恵庭市	千歳市
5.1	6.5

地場産業の開発は当然の要求であるが、高等教育機関誘致への期待は大きい。先の研究学園都市とは矛盾するが、ここでは、具体的に大学誘致への期待と理解したい。札幌圏の地理的条件を生かした流通経路への期待も大きい。が、地元中小企業の役割はそれほど大きくはない。むしろ先端技術の導入とはりあう関係になっている。

道外大企業の誘致は千歳市で高いが、空港活用と観光産業振興への期待があるものと思われる。一方、自衛隊基地の拡充については、ほとんど考えていないようである。

6. 自治体がかかえる特別構想や問題について

問 現在、江別市は野幌森林公園を擁し、優れた居住環境と教育・研究施設の集積をみ、これらを生かして国際的な先端頭脳集積ゾーンを創造する「RTN（リサーチ・トライアングル・ノース）学術・研究開発型団地」構想を推進していますが、あなたはこの「構想」についてどのように

考えますか。次の中から1つだけ選んで下さい。

項 目	%
1. エレクトロニクスや食品加工などの先端技術産業や頭脳集積を核とするまちづくりは、市の将来発展にぜひ必要なので、強力に推進すべきである	27.9
2. エレクトロニクスや食品加工産業の進出は公害発生のおそれがあり、江別の自然環境とは相いれないので「構想」の中身を、従来の住宅団地にプラスして大学・研究機関中心に変え、クリーンなイメージを保つことが重要である	21.0
3. 国際的な先端頭脳集積ゾーンを創造する「RTN 学術研究開発団地」構想は、結局、最もうまいところは札幌市に持っていかれ、投資の割には効果が上がらないおそれがあるので、深入りは危険である	6.8
4. 近年の不況で企業の投資意欲や研究開発投資が衰えているので、先端頭脳集積ゾーン構想に不確実性が増している。現在の構想を中止して新しい構想を策定すべきである	9.7
5. 「RTN 学術・研究開発型団地」構想がよくわからない	30.1
6. その他	0.9
NA	3.6
合 計	753 (100.0)

問 現在、千歳市や北海道庁は新千歳空港を24時間運用体制にし、「国際エアカーゴ（航空貨物）基地」をつくろうとしています。あなたはこれについてどのように考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

項 目	%
1. 多少の夜間騒音公害があっても、千歳市の発展にとっては必要であるからぜひ実現すべきである	27.7
2. 計画が相当遅れても、道や市による防音対策などを完全にやり遂げてから推進すべきである	40.7
3. 防音対策などを実施したとしても、騒音公害は完全にはなくなり、平穏な生活がおびやかされるので中止すべきである	5.7
4. そもそも北海道では国際航空貨物の出し入れ量がきわめて少ないので、エアカーゴ基地をつくったとしてもあまり意味はないし、千歳市の発展にはつながらないので中止すべきである	7.9
5. 「国際エアカーゴ基地」構想がよくわからない	11.0
6. その他	2.4

NA		4.6
	合 計	629 (100.0)

問 現在、恵庭市では先端産業や研究機関の誘致と住宅団地開発などを複合化したまちづくりを目標に「恵庭ハイコンプレックスシティ」構想を推進中ですが、あなたはこの「構想」の内容を知っていますか。次の中から1つだけ選んで下さい。

項 目	%	
1. 内容を詳しく知っている	2.1	
2. ある程度、内容を知っている	14.5	
3. 「構想」の存在は知っているが、内容はよくわからない	50.6	
4. 「構想」のあることを知らなかった	24.6	
5. 関心がない	5.7	
NA	2.5	
	合 計	629 (100.0)

問 現在、「千歳川放水路」計画をめぐって賛否両論が提起されています。この計画は、まちづくりにとってどのような意味を持っていると思いますか。あなたの考えに近いものを1つだけ選んでください

	江別市	千歳市	恵庭市
1. 千歳川の洪水によって市民の財産や安全がいつもおびやかされ、将来のまちづくりに支障をきたすので、「放水路」建設による環境破壊や漁業被害などの問題はありますが、すぐに建設を始めるべきである	11.2	5.2	10.8
2. 千歳川洪水の危険性は日常的に存在し、将来のまちづくりに支障をきたすので、建設による環境破壊や漁業被害に対しては、多額の保障金を支払って同意を得、早く建設を進める	4.1	7.0	6.4
3. 千歳川洪水の危険性は日常的に存在するが、千歳川の洪水はいつもあるわけではないので、当面は小さな洪水を防止するために全力を挙げる。その間に、放水路建設による環境破壊や漁業被害の問題も大きいので、時間を十分にかけて議論し、関係者全員が納得する結論を得るまで計画を進めない	22.0	28.0	31.3
4. 千歳川洪水の危険性は日常的に存在するが、問題の処理は「発生源」で行い、関係ない地域に迷惑をかけないのがまちづくり			

の常識である。したがって、放水路は建設しない。このため、科学技術を総動員して石狩川や千歳川の改修、遊水池（地）計画など、総合的な見地から防水対策を立てるべきである	15.0	17.6	12.1
5. 千歳川洪水対策は、最初から北海道開発局の作成した「放水路計画」を前提に推し進められているが、自主的なまちづくりの観点からするならば、今からでも多様な意見を汲み上げ、考えられるすべてのケースを再検討しても遅くない	21.1	21.5	17.2
6. その他	1.9	1.7	1.3
7. よくわからない	19.5	14.1	17.3
NA	5.2	4.8	3.5
合 計	753	629	629
	(100.0)	(100.0)	(100.0)

問 現在、当市には、自衛隊の基地があります。市の将来発展にとって、あなたは基地の存在をどのように考えますか。次の中から2つ選んで下さい。

	千歳市	恵庭市
1. 自衛隊基地は [A = 北海道の防空・防衛拠点, B = 日本の演習拠点や補給基地] として重要な位置にあるので、国防上の観点から考えて将来もぜひ必要である	40.2	30.4
2. 自衛隊基地の存在は市の経済や社会にとって重要な役割を果たしているので将来的にもぜひ必要である	49.6	42.7
3. 近年、市では工業団地への企業進出が盛んであり、これらの企業活動の活発化によって基地経済に依存する割合は低下しているので、将来は基地の経済に依存しないまちづくりを心がけるべきである	41.8	45.8
4. 国際的な軍縮の流れに沿って、わが国の自衛隊も縮小傾向にあるので、[A = 千歳基地, B = 恵庭の基地や演習場] も大幅に縮小し、その跡地を [A = 公的に, B = 産業用地や公共用地として] 有効活用すべきである	32.5	41.2
5. その他	4.3	4.9
6. よくわからない	7.4	12.7
NA	0.02	0.03

7. 図書館について

問 あなたは図書室（石狩・広島），図書館に何を望みますか。3つまで選んでください。

1. 図書館の運営に住民の声が反映されること

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
50.6	34.4	43.0	38.8	34.9

2. 本に関する情報を提供すること

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
40.0	52.7	41.4	55.2	48.4

3. 住民が利用しやすい雰囲気づくりに努めること

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
66.2	44.0	66.3	35.9	32.9

4. 特色のある蔵書をもつこと

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
16.3	29.0	15.0	29.3	29.8

5. ほかの市町村の図書館の本も借りられるようにすること

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
16.3	13.7	12.8	11.6	12.4

6. 専門の資格をもつ職員を多く配置すること

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
10.2	15.6	11.8	14.0	14.2

7. はば広く、沢山の本を集めるようにすること

石狩町	広島町
52.8	53.8

8. 本だけではなく、色々な設備（ビデオなど）を置くこと

石狩町	広島町
31.8	29.2

9. 分館を作って、近くで借りられるようにすること

江別市	恵庭市	千歳市
36.1	29.8	40.5

8. 永住意志について

問 あなたは、これからも当地に住み続けたいと思いますか。(江別・恵庭・千歳の設問に変更がある)

1. 住み続けたい

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
65.9	72.1	71.5	72.2	73.8

2. よそへ移りたい

石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
25.7	10.4	20.5	10.2	10.8

3. わからない

江別市	恵庭市	千歳市
16.2	16.4	14.8

NA	石狩町	江別市	広島町	恵庭市	千歳市
	8.4	1.3	8.0	1.3	0.6

9. まとめに代えて

札幌市に隣接する石狩町・広島町は、さまざまなかたちでその影響を受けているが、文化系施設(図書館、美術館、音楽ホールなど)の整備という点を中心にまちづくりを考えた場合、住民がどのようなすすめ方を望んでいるかという点、札幌市にあった方が望ましいと思われるのは札幌に、町に望ましいと思われる施設は町に整備する方向で考えること(石狩町47.0—広島町49.6)、独自のまちづくりを考えるのなら、決して札幌に依存することなく町内にも整備すべきであること(石狩町46.1—広島町41.5)に二分されている。しかし、札幌市内で利用できるものは町内に整備する必要はないという意見(石狩町2.4—広島町2.8)は少ないのである。

この調査の実施後、石狩町に大きな変化があり、石狩町役場は札幌寄りの花川地区に移転した。石狩・広島両町民は旧住民と新興団地の新住民との間に、町の核を失う急激な変化にとまどっており、第三の市街地開発が模索されているところである。

一方、江別市、恵庭市、千歳市にとって札幌市の拡大・発展(膨張)は住民の側にも大きな役割が期待されている(アンケート調査3つ選択)。

江別市の住民には、①地価高騰による転出で定住者、企業が多くなっている(66.5)、②働く場所や教育機会の拡大で恩恵が大きい(53.8)、③しかし市民の購買力の流出により、商業やサービス業

を弱体化させている(48.3)。

恵庭市の住民にも同様の傾向(①64.6, ②46.4, ③35.5)がある。千歳市は(①35.9, ②43.6, ③49.2)の外, 新千歳空港の利用増加(46.4)が期待されている。

個別には, 江別市, 恵庭市には, 札幌の団地化により生活関連施設の整備に追われ, 商業, サービス業などの地場産業の育成の面がおろそかになっていること(40.6―41.9), 特に恵庭市には, 札幌, 千歳という新空港の両核にはさまれて恩恵を受けていないこと(30.1)の不満がある。

最後に, 札幌市の発展は, 行政をふくめてさまざまな側面で依存を強めるので, 逆に自治体の自主性や自立性を弱める結果になっているという声(江別市 29.1, 恵庭市 16.8, 千歳市 24.0)があることを心にとどめるべきである。

10. これまでの特色ある活動から

石狩町 中心部は, これまでの石狩河口部の本町地区から花川・花畔(ばんなぐろ)地区に移動しつつあり, この地区での新たな町の顔づくりが早急に求められている。したがって, 市街化の著しい花川地区に隣接し, 道道石狩手稲, 花畔茨戸通という主要幹線が通る新たな地区を「石狩町新庁舎」(1993)に移転した。

町行政施設をはじめ, 教育・文化・福祉施設等の集約的配置と, 既存商店街と核になる商店街を再編成し, 町のシンボルゾーンとなる中心核=タウンコアを形成していく計画である。

石狩町総合開発計画基本計画(1990年度～1994年度)の中に**北方圏との交流**がある。石狩湾新港の供用開始, 国際姉妹都市の提携により, 今後一層北方圏諸国などの交流が深まるものと予想され, 経済的交流や教育, 文化, スポーツなどの交流を通して, 海外都市との友好を努めることがねらいである。

石狩・キャンベルリバー交流は, 1981年度から1992年度にかけて前後30回の歩みがある。キャンベルリバーはカナダの島であるが, 人口3万人でサーモンフィッシングで有名, 木材も豊富で大規模な製材, 製紙工場もある。以来, 友好協会を中心に小・中・高校間の交流, ライオンズクラブや経済団体を始め市町民各層にわたり, 相互に多くの交換交流を行っている。

ロシアとの交流は, 極東のハバロフスク州港湾都市ワニノ港からの木材船の入港により, 港湾をもつまち同士の経済交流を目ざして1989年から交流がはじまった。交流の経緯は1989年から29回に及び, 両市町との相互交流の中で, 合弁7事業の提案を受ける覚書きをかわす外, ワニノの生徒一行27名が来町し, 町内でのホームステイ, 学校での交流, 札幌市内観光を楽しんでいる。また, 1984年からの中国四川省成都市彭県との交流では, 農業研修受入れ団体として, 14回の経緯の中で民間協力による受入れを実施してきたが, 同じ年の中国遼寧省海城市との交流では, 1991年に市町の文化協会との間で, 友好団体協議書を締結している。

江別市 隣接する岩見沢市、南幌町を含め南空知圏として、江別市の生成は江別地区、野幌地区、大麻地区と大きな3つのブロックに配置され、多核型連携構造として、南北軸・3地区連携軸・産業軸・研究学園軸など複合的な都市機能の有機的結合を図りながら、新しい都心づくりを目ざしている。

これまでの都心づくりは、政治・経済・商業・娯楽飲食・金融・ターミナル・ビジネス機能の集積として考えられてきたが、新しい顔づくりとしてこれらの要素を十分考慮し、豊かな江別市の象徴的イメージづくりを合わせたものとなる。

自然に恵まれ美しい町づくりを旨とし、個性的で優れた都市景観をつくるために、日頃からきれいな都市環境の維持に協力している諸団体などを市民からの推薦により表彰する「**江別市都市景観賞**」が生れた。1) 都市環境の向上のための個人、団体等が実践している諸活動、2) 個人、会社の緑地や庭園等で優れているもの、3) デザイン、色彩に優れた商店、企業の装飾、4) 優れた造形物、5) その他、この賞の趣旨に沿うと思われるものを応募、推薦するものである。これは江別市建設部まちづくり推進室都市計画課が進めている。

これまで「ランドマーク」では「とわの森三愛高校前バス待合」（教会の尖塔をイメージしたバス待合所）、「豊幌駅前電話ボックス」（重厚なヨーロッパの古城をイメージした電話ボックス）、「自治研修所前バス待合所」（おとぎの城をイメージしたメルヘンチックなバス待合所）、「建造物」として「札幌学院大学記念館」、「江別市コミュニティセンター及び中央公民館」、「特別部門」では「地域の美化運動」（文京台第一自治会）、「花いっぱい運動」（酪農学園花壇）、「グリーモールト噴水」などが挙げられている。

広島町 これまで「東部」「西の里」「大曲」「輪厚」「北広島団地」の5つの地区に分けて「まちづくり」を進めてきたが、これからは分散をできるだけ抑え、まとまりのある市街地形成を旨として「東地区」「西地区」「西の里地区」の3つの地区に区分し、計画を進めている。

「東地区」は中心市街を形成しているが、行政、商業、文化などの中核的な機能を持ち、JR北広島駅周辺一帯を広島町の中核地区として、商業・業務機能の集積を図り、住宅地の拡大を行っている。「西地区」は産業機能をさらに強め、「西の里地区」は住宅地としての性格を中心としながら、福祉のモデル地区的な性格をもたせようとしている。

「**広島町図書館づくりを進める会**」（発足1984年15名出席）は30数名の会であるが、月に1度くらいの割合で例会をもち次のような活動を行っている。1. 話し合い、2. 勉強会（他の町の図書館見学等）、3. 講演会、4. 他サークル等との交流会、5. バザー、6. 町民へのアピール行事、7. 行政との懇談、8. 会員の親睦（1月新年会、7月お楽しみ会）、9. 会報発行、10. その他。

「暮らしのなかに図書館を——広島町まちづくり図書館の構想——」（1991年3月）で報告書（124頁）をまとめたが、そのエピソードで次のようにいっている。「……近い将来、広島町の図書館が建設されます。図書館のハードウェアはソフトウェアに裏打ちされたものでなければなりません。使

うもののニーズが生かされた図書館計画がもっとも大事であり、町民が育てる広島町ならではの図書館を望みます。そのためにも、図書館を創って行く過程が大事であり、計画段階からの住民参加が必要だと思えます」。

「町づくりに広島町方式を」の声で、新しい図書館の計画や建設に当たって考慮すべき点として、「図書館はJR駅近くの住宅供給公社跡地、駅東口など住民が利用しやすい場所を」「熱心で情熱ある館長を選ぶため、住民投票などの導入」などを挙げている。「求められる図書館像」については、①情報の種類、②図書館の機能について、概念図とともに示している。それによると、本、雑誌、新聞などだけでなく、写真、ビデオ、映画など視覚的な情報、町内に住む人たちの専門的な知識、感性、技術などの人的な情報、音や声、音楽などの音声情報などを備えること、これによって図書館が「知的生活、自己実現に役立つ」ほか、「地域コミュニティの形成」「町のシンクタンク」「地域産業への支援」といったこれまでにない機能を果たすとしている。

恵庭市 恵庭岳に由来して名付けられたまちであるが、戦後は、自衛隊の駐屯などの影響から、農業を中心とする第1次産業にかわり、消費人口の増大に伴う小売業を中心とする第3次産業、地場産業的な製造業を中心とする第2次産業が発達した。工業は恵庭工業団地、戸磯恵南工業団地、島松工業団地の3カ所の工業団地、食料品製造、金属製品、木材製品などの生産活動が活発に進められている。

駅前広場は、まちの顔となるシンボリックなオアシスであり、恵庭、恵み野駅、島松駅の駅前広場を、それぞれ特色のある広場として景観づくりを進めている。恵庭ハイコンプレックスシティ構想の中核が恵み野新興団地にあるセンタービルであるが、企業の新技術・新製品開発が進められている。

広報えにわ (恵庭市役所広聴課編集)の「特集 自治を問う」(1994.11)は、部内からの大胆な提言で話題を集めた。「今年二月三日、前市長が収賄容疑で逮捕。その後の九十八条、百条委員会の設置。恵庭市は、かつて経験したことのない事態に直面している。今、あらためて行政や議会のあり方が問われているのだ。そして実に、私たち市民もまた問われていると言わねばならない。自治の主体は、まさしく私たち、市民だからである。今、私たちは何をすべきなのか、自治の意味を確かめながら、考えてみたい。」「問われているのは、市政・市議会だけじゃない有権者もだ」の大見出しで、更に「ゼネコン汚職で次々と逮捕者がでた。どこか遠いところの話だった。しかしそれは、恵庭にもやって来た」「人口が増え、急速にまちのエリアが広がる。昭和五十年代から、公共工事は目白押しとなる」「単なる施設づくりじゃいけない。どれだけ多くの市民が、施設づくりに参加したかが問われはじめている」「市や議会の情報が市民から遠い。普段着の情報・議会・市政。市民が主役とは、そういうことだ」「市政の浄化、市民参加のためのシステムづくりも、一方では徐々に進んでいる」「元気な市民の時代がやってきた。地域や職場を越えたネットワークで、行動を起こす時期だ」の小見出しで、つづいて「座談会 明日の恵庭を考える」で、地元の小説家、ピアニスト、

テレホン相談員，旅館主，大学教授，コラムニストに「いま，市政に求められること」を語らせている。

千歳市 西部の支笏湖と森林地域，既成市街地地域，北・東の農業地域，更に空港周辺地域に分け，それぞれの特性を生かして機能連携を図りながら都市づくりを進めている。千歳空港の歴史は北海道の空港史といえる。以来，海軍航空基地，米軍基地としての歴史を経て，民間航空と航空自衛隊基地としての2つの機能をもって今日に至った。

新千歳空港旅客ターミナルビルは，最新の機能性を加えて国際空港にふさわしいスケールと美観を備え，北海道を代表する豊富な商品や味覚を提供している。また，臨空工業団地は，先端産業を中心とした多業種多工場が集積し，向かい側には向陽台住宅団地が近接しており文化的な生活を営んでいる。

1991年度を始期とする第4期総合計画で21世紀に向かう千歳の都市像を「せせらぎに創造し世界にはばたくつどいの里」として，コンベンション都市形成に努めている。コンベンションを「人・物・情報等の複合的，総合的な集人・交流の場」とすれば，千歳市は北方圏を指向した国際空港をもつ北海道の空陸交通の拠点都市であり，都市基盤も十分に整備されているので，**まちぐるみでコンベンション機能の充実**に力を注いでいる。更に，ホテルの活用など保養や娯楽的機能を合わせたリゾート開発をも目指している。

コンベンションの実績と予定（参加者250人以上の会議）では，国連アジア国際シンポジウム，青年会議所連絡会議，北方領土返還要求大会，PTA大会，テクノポリス推進記念シンポジウム，自然公園大会，母子寡婦福祉大会，技術家庭科教育研究大会，婦人大会などさまざまであるが，地域経済の活性化に間接的効果を挙げるなどさすが千歳ならではの活動である。

参考資料

- ・石狩町新総合開発計画 基本計画案
- ・石狩町新総合開発計画 はまなす薫る10万都市 石狩21世紀プラン 基本構想原案
- ・石狩町 都市計画の概要（土地利用計画制度について） 企画調整部都市計画課
- ・石狩町の都市計画—資料集— 平成6年1月 企画調整部都市計画課
- ・石狩町花畔市街地区 ふるさとの顔づくりモデル計画書 平成4年 石狩町花畔市街土地区画整理組合
- ・石狩シーサイドパーク構想 石狩町企画調整部（政策推進）
- ・北の未来をひらく 新交通システム 石狩町都市モノレール等推進協議会
- ・サポートセンタープラザ多目的ホール 利用のご案内 石狩開発株式会社
- ・平成6年度 石狩町の教育 石狩町教育委員会
- ・国際交流のあゆみ 石狩町総務部秘書課

- ・原始林と石狩川にいだかれたふれあいのまち 江別市新総合計画 基本構想 昭和60年度～平成16年度 北海道江別市
- ・えべつ21 15万人都市プラン 江別市新総合計画 後期基本計画 平成7年度→平成16年度 北海道江別市
- ・江別市新総合計画 後期基本計画 平成7年度→平成16年度 資料編 北海道江別市
- ・新総合計画・後期基本計画策定方針 企画部
- ・平成5年 市民生活環境意識調査報告書 江別市
- ・平成5年 市民生活環境意識調査報告書〔概要版〕 江別市
- ・新総合計画主要指標の推移
- ・人口問題 札幌郡市圏の人口 江別市の人口特性 人口減少・高齢化社会における地域づくりの在り方
- ・江別らしい都市景観の創出
- ・第4回えべつやきもの市'93実施要領
- ・「陶芸の里」構想
- ・頭脳集積都市・江別・RTN 学術・研究開発型団地
- ・北のTSUKUBA 江別RTNパーク資料編
- ・広島町2000年基本構想 広島町第3次長期総合計画
- ・まちづくりアンケート調査(1987年)結果報告書
- ・暮らしのなかに図書館を ― 広島町まちづくり図書館の構想 1991年度3月 広島町図書館づくりを進める会
- ・第二期恵庭市総合計画 基本構想 基本計画 昭和61年度～昭和70年度 北海道恵庭市
- ・えにわ 第二期恵庭市総合計画 PR版 未来のふるさとづくり
- ・恵庭岳を望む、緑豊かな雪に強いまちづくり 水と緑のやすらぎプラン 北海道恵庭市
- ・北海道大学法学部木佐ゼミナール研究報告書「あずましい街 ― 恵庭の景観条例を考える ― 1992」
- ・千歳市第4期総合計画 平成3年 北海道千歳市企画部政策審議室企画課
- ・地球時代の戦略都市 千歳 千歳市商工観光部工業振興課
- ・新千歳空港の概要 平成5年3月 東京航空局新千歳空港事務所
- ・千歳臨空工業団地 北海道千歳市
- ・泉沢の開発 泉沢向陽台住宅地 千歳臨空工業団地
- ・新千歳空港周辺地域圏整備構想 ― 地方拠点都市地域の構想概要 千歳市
- ・千歳市主要プロジェクト概要 千歳市企画部

《付記》

この研究は、北海学園大学開発研究所（所長・大沼盛男）の3カ年にわたる総合共同研究計画から、筆者個人の責任で部分的にまとめたものであることをお断りしたい。

なお、この調査の後、石狩町と広島町は、1996年9月1日を期して、それぞれ市制施行が行なわれ、石狩市・北広島市に衣替えしてこれから独自のかじ取りが求められている。